

蓮田病院広報

第24号 11・12月号

このたびの東日本
大震災により被災され
た方々、ご家族の皆さま
に心より
お見舞い申し上げます。
蓮田病院職員一同

日本はひとつ

発行：蓮田病院広報部
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課
発行日：平成24年10月20日

蓮田病院理念

“思いやりのある やさしい医療”
“最新の高度医療”



禁煙のお話

医師 佐口盛人



最近、受動喫煙の問題で飲食店・乗り物・職場など人が集まる所は、タバコが吸えなくなっています。また、肺気腫などの病気の心配・大幅なタバコの値上げもあり世の中は禁煙ブームになっています。一方でいつか禁煙したいと思いつつ、きっかけがなく今もタバコを吸っている人もいます。今回はそういう方のためのテーマです。ぜひこれを機会に行動に移して頂ければと思います。

禁煙の方法はいくつかありますが、今最も効果があるのが禁煙の保険治療です。施設基準があり、どこでもできる訳ではないのですが、当院は2008年10月より禁煙外来を行っております。約8割という高い成功率で、たくさんの方がタバコを卒業(卒煙)されております。

意志が強ければタバコは止められるという理屈もありますが、それは思い込みで、ニコチン依存症は意志だけでは行動がコントロールできない状態なのです。意志よりもむしろ習慣や環境を変えるのが大切です。例えば、朝一で吸う習慣があれば、代わりに身支度・歯みがき・着替え・シャワー等です。「そこに山があるから登る」と言った人がいますが、タバコも同じで意志でも目的でもなく単にあるから吸うと言うことが多いです。地震の被災者は、家も家族も仕事も失って、それでもやっていけない状況で、それに比べたらタバコのない環境を自分で選べるなんて贅沢なことでもあります。タバコだけでなく、人は習慣と環境に左右されがちです。どうせなら素敵な習慣を身につけましょう。出会いや縁をきっかけにして行動を起こすと自然と人は成長できます。卒煙した方は、新しい仕事を始めたり、家族との関係が良くなったり、健康やお金の面以上に価値があります。なによりみんな笑顔になれます。

もしこの文章を読んで興味を持たれたら、検診センターへご連絡下さい。(Tel 048-766-8155)

秋の夜長

顕正会 蓮田病院
副院長 金谷幸一



猛暑が過ぎ、朝晩の涼しさから、ようやく秋の気配を感じられるようになりました。そこで今日は、つれづれなるままに、秋に思い巡らせたいと思います。

実りの秋、収穫の時です。蓮田病院に赴任して、農作業に携わる方と接する機会が増えました。膝・腰の痛みを抱えつつも、この日の喜びのためにご苦労されている方です。秋はそのような方に感謝する季節です。

食欲の秋、誰もがおいしいものには目がありませんか？サンマも秋が旬です。秋の嵐に命を落とした海の男たちのニュースは記憶に新しいです。食卓に並ぶ食べもののルーツを想像し、感謝していただきましょう。でも、ゼロカロリー・ノンアルコール飲料でダイエット中の人に(私のことです)、ごちそうのお話はちょっとこどくでした。

ノーベル賞の秋、京都大学 山中教授のiPS細胞の開発が受賞しました。この報道に日本中が沸きました。どんな病気でも治せる時代が来ると期待が広がっています。そんな中で、この技術を使って、自分に何が出来るのだろうか？社会はこの技術を受け入れられるのだろうか？などと、心配性の私は考えてしまいます。

読書の秋、虫の音を聞きながら読書するのはいいものです。ノーベル文学賞に村上春樹が選ばれなかったのは残念ですが、いつまでも自分だけの村上でいて欲しいという気持ちもあり複雑です。イスラエルの文学賞受賞講演での「壁と卵」の話や尖閣諸島をめぐる中国と日本の関係についての朝日新聞への寄稿は、文学の持つ可能性を教えてくださいました。

中秋の月、満月の中にウサギが見えるという話は有名ですが、私の家にもウサギが1羽います。名前はチップといい、娘が世話しているペットです。気が向いた時だけ、グーグーと鳴きながら私の足元を跳ね回ります。かわいいと思う瞬間はそれだけで、抱き上げるとすぐ逃げようとしますし、家主の不在をねらって家の壁紙をかじっています。

秋の夜長、つまらないことばかりを考えているのは、私だけでしょうか。みなさんは、考える時間を持つことを大切にしていますか？

禁煙治療プログラム

禁煙治療を希望して来院

スクリーニング実施

保険適用のための患者条件

- 条件1 直ちに禁煙しようと考えていること
- 条件2 TDSによりニコチン依存症と診断されていること
- 条件3 ブリンクマン指数が200以上であること
(1日の喫煙本数×喫煙年数)
- 条件4 禁煙治療を受けることを文書により同意していること

禁煙治療の説明

保険適用の
禁煙治療へ

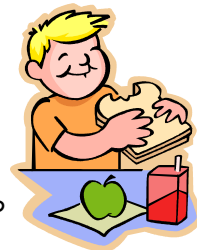
自由診療による
禁煙治療の希望

TDS(ニコチン依存症のスクリーニングテスト)



設 問 保険適用条件・・・5点以上		はい 1点	いいえ 0点
問1	自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまっていましたか。		
問2	禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありましたか。		
問3	禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまわなくなりましたか。		
問4	禁煙したり本数を減らしたときに次のどれかがありましたか。(イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加)		
問5	問4でうかがった症状を消すために、またタバコを吸い始めることがありましたか。		
問6	重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸うことがありましたか。		
問7	タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているのに、吸うことがありましたか。		
問8	タバコのために自分に精神的問題が起きているとわかっているのに、吸うことがありましたか。 ※精神的問題とはいわゆる禁断症状ではなく、喫煙することによって神経質になったり、不安や抑うつなどの症状が出現している状態。		
問9	自分はタバコに依存していると感じることがありましたか。		
問10	タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか。		
合計			点

◆◆◆ 当院での嚥下障害への取り組み ◆◆◆



🍴『口から食べる』ということ

食べることは、成長・生命活動のエネルギー源であり本能ですが、「おいしい」「楽しい」「嬉しい」などの感情は、生きる喜びや意欲となります。

何らかの疾病や障害で日常生活面に困難のあるひとにとっては、『口から食べる』という行為は疾病からの回復というだけでなく、日常生活の活性化、生活の質の向上につながっていきます。

🍴当院の取り組み

当院では、医師・看護師・栄養士・言語聴覚士などが中心となり、積極的なチームアプローチを行っています。

嚥下障害の患者様への訓練や食支援には「どこに・どのような問題点があるのか」「どのような状態か」「その原因は何か」など丁寧な評価を実施します。その際重要なのは、問題点だけでなく、患者様がもっている良好な機能や能力を発揮できるように導くことです。評価と同時に対応策を考え、健康回復へと向かうようタイムリーなアプローチを実施します。

評価においては、必要に応じて、嚥下造影検査(VF検査)や嚥下内視鏡検査(VE検査)を行い、客観的側面からも評価しています。

VF検査: 造影剤を含んだ食べ物をX線透視下に飲み込んでもらい、ビデオに記録し解析する検査です。嚥下する際の喉の動きを見ることができます。

VE検査: ファイバースコープを用いて喉の動きや唾液・食べ物の残留の状態を見ることができます。

言語聴覚士が行う嚥下訓練には、食べ物を用いずに行う基礎的訓練(間接訓練)と、食べ物を用いる摂食訓練(直接訓練)があります。どちらの訓練も患者様各々に応じた適切な訓練方法を選択し、チームで共有し話し合いを重ねながら嚥下機能の改善に向けて進めていきます。

嚥下障害の治療・訓練はいかに安全に飲み込む力を改善させていくかが重要になります。誤嚥していることに気付かず食事を継続させていると、誤嚥性肺炎を引き起こす可能性があります。言語聴覚士がその時々飲み込む力を十分に評価した上で、無理なく安全に食事していただけるよう関わっていきます。

点滴やチューブからの栄養補給でなく、口から食事を取れるようになることは、患者様にとって大きな喜びであると同時に、私たちスタッフにとっても大きな励みとなります。

言語聴覚士 鈴木 直美

🍀 新採用医師のご紹介 🍀



10月1日付け

外科 松井俊大

「良い医療」を提供できるよう外来・入院ともに診療にあたっています。よろしくお願ひします。

編集後記

11月となり、肌寒い季節となりました。さて突然ではありますが、11月の誕生石をご存知でしょうか？

11月はトパーズという透明な宝石だそうです。名前の由来は諸説ありますが、紅海のトパゾンと呼ばれていた島の名前からきており、美と健康を象徴しています。トパーズの特徴として、色彩さまざまな変化に富んでおり、白、青、黄、紫、赤、ピンクなどの結晶が存在します。本来は無色透明ですが、結晶構造の歪みによって様々な色が存在するそうです。

自分も医療従事者として、この宝石のように様々な色合いを持って患者様と接し、新しいことにチャレンジして日々精進してまいります。

広報委員 白石和之

永年勤続表彰者

20年永年勤続表彰者

久保木悦子	2階病棟師長
佐々木久美子	B棟3階病棟師長
石山 学	医事課課長
桜沢 和彦	総務課長



20年永年勤続表彰者

10年永年勤続表彰者

野口佳代子	2階病棟看護師
向坂 雪絵	B棟3階病棟看護師
福田 晃子	B棟4階病棟看護助手
山田 孝	診療技術部放射線技師
中村 佳美	診療技術部歯科衛生士
安達 泰斗	診療技術部理学療法士
池田 由香	医事課

蓮田病院公開講座のお知らせ

日時：平成24年12月7日(金) 14:00~15:10
場所：蓮田病院C棟6階 談話室
内容：1. 自宅で行う口腔ケア

歯科医師 (石橋直美)

2. 美味しく食べて、元気で長生き！

～誤嚥性肺炎にならないために～

言語聴覚士 (鈴木直美)

参加費：無料

問い合わせ：蓮田病院 病診連携室 TEL 048-766-3660